

**未来医療研究人材養成拠点形成事業
選定事業の概要と推進委員会からの主なコメント**
[テーマA：メディカル・イノベーション推進人材の養成]

		整理番号	A - 9
申請担当大学名 (連携大学名)	長崎大学		
事業名	「医工の絆」ハイブリッド医療人養成コース ～出島マインドで医療ものづくり～		
事業責任者	医歯薬学総合研究科長 小路 武彦		
事業の概要	<p>先進的な医療と機械・電子工学分野の高い技術を生かし、学生・教員相互乗り入れ型の医工連携教育によりハイブリッド医療人を養成する。</p> <p>学部教育では医療ものづくりマインド育成カリキュラムによる医・工学部生の臨床先端医療機器体験実習や両学部研究室でのリサーチセミナーを実施する。</p> <p>医歯薬学総合研究科にハイブリッド医療人養成コースを新設し、産学の講師陣による実践教育と3Dプリンターを用いた医療機器の企画、試作機制作や評価、海外産学連携施設での短期研修等を行う。</p> <p>本コース修了者には、博士(医学)取得時に「医工ハイブリット医療人」の称号を与える。さらに、博士(工学)を論文博士にて取得可能とする。医学部3 - 6年次と工学研究科博士前期課程学生の本コースの特別聴講を可能とし、大学院入学後に単位認定する。</p> <p>ハイブリッド医療人地域交流促進室に修了者を人材登録し、地域における医療機器ものづくり相談や企業への雇用促進を支援する。</p>		
推進委員会からの主なコメント	: 優れた点等、	: 改善を要する点等	
<p>医学部生から教育を開始し、また工学部生も対象にするなど事業の目的に合致し評価できる。臨床実地の観点も養われるよう配慮されている。</p> <p>古くから蘭学への窓口であったという地の利をよく活かした計画となっている。</p> <p>医工連携(特に医療機器)を中心に据え、ユニークかつシンプルでわかりやすい。</p> <p>ハイブリットコースは学部間の垣根をとりはらって、学生、教員が行き来できる点、医学部生が工学博士の学士号取得も可能な点、ライデン大学への短期研修も予定されている点は特色がある。</p> <p>医学部と工学部の相互乗り入れ教育は実現可能性が高く、双方にとって魅力的な人材を提供することが期待できる。</p> <p>企業との連携については、講義やカンファレンスが主でやや弱いように見える。ライデン大学への研修の際には中身をより明確にすることが必要。医学部生と工学部生が同じコースに在籍するシステムだが、学生間の交流が促進されることを期待したい。</p> <p>産業界の観点を知るための体験型実習のような取組を組み込まれることを期待したい。</p>			